

# 新入生合宿 オリエンテーション報告

## 経営学科

経営学科 1年 齋藤 七海

新入生合宿オリエンテーションは、ほぼ初対面の人達と行くので、それほど期待していませんでした。しかし、好きな物事について、発表を行う最初のワークで打ち解けてきて、発表の時には、みんな楽しそうにしていました。みんなで一緒にご飯を食べたり寝たりして、修学旅行気分を味わうことができました。宿泊先から帰った後のドッジボールでは、最初は遠慮もありましたが、試合が始まったら、いつしかみんな本気で楽しんでいました。優勝もできて良い思い出になりました。色々なことがあった2日間でしたが、みんなと仲良くなれたと思いました。

## 福祉学科

福祉学科 1年 岡本 芭菜

入学後に行われた1泊2日の新入生合宿オリエンテーションに参加しました。1日目は履修登録や自己紹介、校内探索などを行い、2日目は福祉カルタやドッジボールを行いました。この合宿は入学後すぐ行われたため、とても緊張している中での参加となりましたが、レクリエーションを行う中で学科の仲間や先輩、先生方と話す機会が増え次第に緊張もほぐれていきました。合宿中は、話し合いや協力が必要な場面が多く、積極的に話しかけることの大切さを実感しました。

この合宿で得られた学科のつながりを大切に、4年間の大学生活を頑張りたいと思います。

## こども学科

こども学科 1年 久野 優衣

入学式が終了してから、緊張が抜けないうち、1泊2日の新入生合宿オリエンテーションに行きました。オリエンテーション初日の出発式では、先輩方によって作られたお手製の名札をプレゼントされました。合宿先の「ツネイシしまなみビレッジ」へと向かうバスでは、名札がとても可愛く、その話題で盛り上がりました。

到着すると早速、学生リーダーの先輩たちが企画したオリエンテーションが行われました。先輩たちや大学の先生や同級生を、お手製の名札で名前を確認しながら、手つなぎ鬼や、バレーボールなどを楽しみました。企画が進むにつれ、最初の緊張が嘘のように話せていけるようになりました。

二日目は、先輩たちからのアドバイスや友人たちとの協力で無事履修登録を終えました。

新入生合宿オリエンテーションでは自分自身の成長にも大きく繋がったと強く感じました。同時に、先輩方の細かな気遣いサポートの数々に感銘を受け自分自身も先輩たちのようになれるよう、しっかりと学生生活を頑張りたいと思いました。

## 健康スポーツ科学科

健康スポーツ科学科 1年 藤田 望杏

新入生合宿オリエンテーションは、入学して間もないこともあり不安もありましたが、様々な活動をする中で、沢山の友達と仲を深めることができ、初日から濃い時間となりました。中でも印象深いのは先輩方が披露してくれた集団行動の演技。ぎびぎびとした一つ一つの動きが最後まで揃っていて魅了されました。練習の時に私は何度も間違え不安になりましたが、先輩方のわかりやすい指導で、本番では先頭で上手くやりきることができ、皆との一体感や達成感を味わいました。

今後は、この経験を忘れることなく、充実した大学生活を送れるよう精進して参ります。

## 看護学科

看護学科 1年 木曾 莉里加

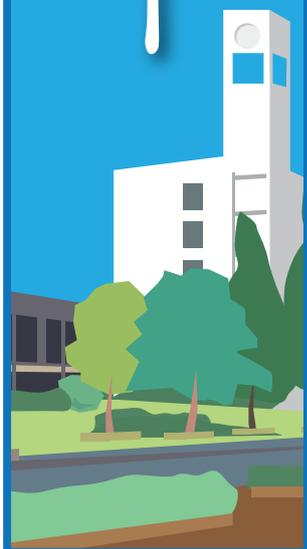
新入生合宿オリエンテーションは新しい友人と出会い、仲が深まり充実していました。レクリエーションや夜の集い、食事の時間など、同級生や学生リーダーの先輩と交流することができました。特に印象に残っている履修相談では、先輩方がどんな質問にも優しくわかりやすく教えてくださって、不安が一気になりました。今回の行事を通して、看護師になるために、授業外でもボランティア活動やサークル活動に積極的に参加し、先輩方のようなコミュニケーション力を身に付け、後輩や先生方から信頼されるような人間になりたいと強く思い、これから四年間頑張っていきます。

福山平成大学学報

第 105号



み  
ゆ  
き  
レ  
タ  
ー



## 福祉学科

### 2年・3年・4年生が合同で開催する介護実習報告会 ～インカムやタブレット等デジタル化が進む介護実習現場～



教授 中司 登志美

福祉学科介護福祉専攻では、毎年春休み期間に、1年生はデイサービスで10日間、2年生は特別養護老人ホーム等の介護保険施設で21日間の介護実習を行います。そして実習後は、振り返り作業として報告書を作成し、報告会を開きます。報告会には介護福祉専攻の全学年の学生と巡回指導をした先生達が参加して、介護福祉士を目指す学生達が介護現場で何を学び、何を悩み、自分をどうのように見つめ直したのかについての発表を聞きます。

今年度もその報告会が5月に行われました。認知症や難聴などのコミュニケーション障害がある利用者とのコミュニケーションは、職員が利用者一人ひとりに合わせて工夫していることを知り、大学で学んだ基本的な介護技術は、利用者の心身の状態に合わせて、一人ひとり異なる方法で介護現場では実施されていることを体験してきました。

一年生のなかには、高齢者が「介護保険法」で利用する通所介護と障がい者が「障害者総合支援法」で利用する生活介護が、同じ事業所で実施されている共生型サービスという新しい形のデイサービスを学んで帰ってきた学生もいました。広いデイサービスでは、スタッフがインカムを付け、絶えず情報を共有しながら利用者支援を行っている介護ICTの実際も見学してきました。2年生のなかには、タブレットを使ってリスクマネジメントをしている介護保険施設があったという報告もありました。

## 経営学科

### 経営講演会



地域の方々と一緒に、教室で学んだ理論を実践で活かすことができるよう、主体的で実践的な学びの場を提供してゆきたいと思えます。

最後に、参加された皆さま、株式会社ひるぎんホールディングス並びに株式会社広島銀行の皆さま、本当にありがとうございました。

教授 堀越 昌和



経営学部経営学科では、備後地域を中心とした諸機関との産官学連携を通じた、アクティブラーニングに積極的に取り組んでいます。その一環として、今年の3月、社会連携推進センターにて、第9回「経営講演会」が行われました(福山平成大学経営学部びんご経営リサーチセンター主催、株式会社ひるぎんホールディングス後援)。コロナ禍での中断を挟み、およそ7年ぶりの開催となった、今回の講演では、株式会社ひるぎんホールディングス・経済産業調査部・経済産業調査グループ長の河野晋氏をお迎えし、「Covid-19の影響を踏まえた広島県経済・産業の現状と展望」と題して、ご講演いただきました。

社会人の方々をはじめ、およそ100人が参加した、この講演会、本学科の学生の皆さんは、参加者として聴講するだけでなく、会場スタッフとしてもスムーズな運営をサポートしてくれました。1年生から3年生まで、それぞれ学びのステージは異なりますが、聴講した学生ひとり一人が、本当に熱心に講演に聴き入っていました。また、少し緊張しながらも、礼儀正しく、的確に会場された方々を接遇する、会場スタッフの学生の皆さんの姿を見ると、社会人基礎力を着実に身につけていることが実感されました。

本学科ではこれからも、

## 看護学科

### 公衆衛生看護学実習頑張っています!



保健師課程の4年次生の学生は、保健師の国家資格を取得するために令和6年5月より公衆衛生看護学実習を開始しました。現在は保健師での実習を福山市保健所で全員終了し、市町村保健センター実習として福山市の各支所で各グループに分かれ行っています。また6月からは産業保健実習として、企業や健診センター等でも開始しています。その後、公衆衛生全般の学びとして総合的な実習を行います。

公衆衛生看護学実習の内容としては、家庭訪問や健康教育など、「地域住民」や「企業における職員」の健康を守るための保健活動を実際に行わせて頂き、保健師活動における実際の重要性や難しさを実感しながら実習を行っています。これらを体験し学びを深めることで、行政保健師や産業保健師、または看護師として社会で活躍していくときの活動や業務の基礎となっていくこととなります。

また保健師課程の学生は公衆衛生看護学実習を終了することで、2月に保健師国家試験と看護師国家試験の2職種の国家試験に臨みます。

卒業生の中には保健師の国家資格を取得した後に個別での取得になりますが、希望者は衛生管理者一種養護教諭2種免許状を取得(申請)する学生もいます。

今後、様々な職場で活躍してくれることを期待しています。

准教授 齊藤 公彦

# Topics 学科トピックス

## 健康スポーツ科学科

### デンマークのオレロップ体操学校と協定が結ばれました!

5月13日(月)デンマークにあるオレロップ体操学校からインターナショナルアカデミー長様、校長先生をはじめ4人の方々をお迎えしました。オレロップ体操学校は、デンマーク体操を世界中に普及させた伝統ある学校で、現在も世界中から学生が集まっています。これまでも本学の健康スポーツ科学科とは2010年に協定が結ばれてから、双方の教員や学生との交流が長く行なわれてきましたが、2019年にはじまった新型コロナウイルス感染症の流行で交流が難しくなっていました。

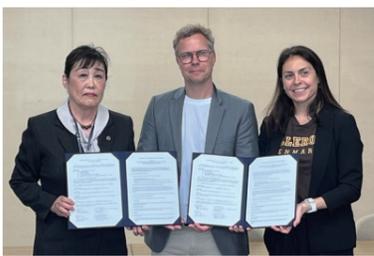
まず、歓迎の挨拶を永井純子副学長が行った後、オレロップ体操学校の代表であるクリスチャン・クネ氏からもご挨拶があり、再協定についての慶びを伝え合いました。そして交流再開の協定書に調印が行われました。

本学から推薦した学生が留学を認められた場合は、オレロップ側から奨学金(滞在費や学費)を出していただけることとなります。学生には素晴らしいチャンスと言えるでしょう。

調印式の後には、昼食をとっていただいて、その後大学施設内を案内しました。トレーニングルームをはじめ武道場や、爽風会館(リニューアルされた宿泊施設)等もご案内しました。

今後は、再び現地学校への視察や留学、オレロップ体操学校からの講師や学生の来日など、様々な交流が進められていきます。

講師 近藤 千穂



子ども学科では実践力を身につけた保育者を育成するために、各学年で地域の保育現場と連携した授業を行っています。現場で実際に子どもと触れ合い、保育者の指導を見させていただくことで、大学で身につけた知識を実践できる力が身に付きます。また、本学周辺の多くの保育所、幼稚園、認定こども園等の保育施設と連携し、保育現場で授業を行うことは、地域の求める保育者養成にも役立ちます。

今回は、入学間もない1年生が現場保育者の指導で保育を体験する「幼稚園の先生と遊ぼう」を紹介しました。保育士・幼稚園教諭を目指す学生が実践的に学ぶ授業「保育実地体験I(保幼)」として4月末に行いました。尾道市の「御調みくに幼稚園」から4名の先生に来ていただき、先生の指導で学生は子どもになりきって、ふれあい遊び、リトミック、カードめくりゲームなどの保育活動を体験し、幼児教育の方法を実践的に学びました。今年は、御調みくに幼稚園に就職している本学卒業生2名も講師として指導してくれました。40名近くの学生に対して、堂々と指導する姿に就職後の成長を感じました。また、学生は先輩から指導を受けたことで、将来の自画像を具体的に描き、保育者としての喜びと責任感の自覚につながりました。

福山平成大学は緑の多いキャンパスで、感性的教育に適した環境です。また、子ども学科棟は保育・教育を実践的に学ぶ施設が充実しています。この充実した環境を生かして、実践的な学びを得る授業やイベントに取り組んでいきます。

教授 小野 順子

## 子ども学科

### 現役の幼稚園の先生をお招きして 保育指導方法を学びました

子ども学科では実践力を身につけた保育者を育成するために、各学年で地域の保育現場と連携した授業を行っています。現場で実際に子どもと触れ合い、保育者の指導を見させていただくことで、大学で身につけた知識を実践できる力が身に付きます。また、本学周辺の多くの保育所、幼稚園、認定こども園等の保育施設と連携し、保育現場で授業を行うことは、地域の求める保育者養成にも役立ちます。

今回は、入学間もない1年生が現場保育者の指導で保育を体験する「幼稚園の先生と遊ぼう」を紹介しました。保育士・幼稚園教諭を目指す学生が実践的に学ぶ授業「保育実地体験I(保幼)」として4月末に行いました。尾道市の「御調みくに幼稚園」から4名の先生に来ていただき、先生の指導で学生は子どもになりきって、ふれあい遊び、リトミック、カードめくりゲームなどの保育活動を体験し、幼児教育の方法を実践的に学びました。今年は、御調みくに幼稚園に就職している本学卒業生2名も講師として指導してくれました。40名近くの学生に対して、堂々と指導する姿に就職後の成長を感じました。また、学生は先輩から指導を受けたことで、将来の自画像を具体的に描き、保育者としての喜びと責任感の自覚につながりました。

福山平成大学は緑の多いキャンパスで、感性的教育に適した環境です。また、子ども学科棟は保育・教育を実践的に学ぶ施設が充実しています。この充実した環境を生かして、実践的な学びを得る授業やイベントに取り組んでいきます。

教授 小野 順子



▲ピアノを囲んで



▲先生の説明を聞く

# 令和6年度サークル活動記録

2024/5/28現在

## 男子バレーボール部

第99回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会	4/20~5/12	広島大学 他	準優勝
第68回中国四国学生バレーボール選手権大会	5/25~5/27	岡山大学第二体育館 他	準優勝

## 軟式野球部

第29回中国地区大学軟式野球連盟春季リーグ戦	3/27~5/11	福山市竹ヶ端運動公園野球場 他	優勝
第4回全日本大学軟式野球選抜大会出場(4年連続4回目)			

## 陸上競技部

第78回中国四国学生陸上競技対校選手権大会	
5/9~5/12	島根県浜山公園陸上競技場
男子 走高跳	第3位 小林 祐大(健スポ4)
男子 5000m	第3位 橋本 怜弥(健スポ3)
女子 棒高跳	第3位 森迫 菜羽(健スポ1)
上位入賞者は第77回西日本学生陸上競技対校選手権大会に出場	

## ソフトテニス部

第46回中国学生ソフトテニスリーグ戦大会	
第68回中国学生ソフトテニス優勝大会	
第26回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会	
5/1~5/5	水島緑地福田運動公園テニスコート
男子団体	準優勝
女子団体	優勝
女子個人戦	優勝 岡崎あゆみ(健スポ4)・柴田 真衣(健スポ3)
男子シングルス	優勝 松中 友(健スポ4)
女子シングルス	優勝 岡崎あゆみ(健スポ4)
全日本大学ソフトテニス王座決定戦に出場	

Congratulations!



## 学長杯争奪競技大会報告

今年度も5月15日に学長杯争奪競技大会が開催されました。

ソフトボール9チーム、ソフトバレーボール9チームの参加があり学生たちの熱き戦いが繰り広げられました。(大会関係者約250名)

### 競技の結果

ソフトボール **優勝 福祉学科A**  
準優勝 経営学科B

ソフトバレーボール **優勝 こども学科A**  
準優勝 健康スポーツ科学科A



ソフトボール優勝 福祉学科A



ソフトバレーボール優勝 こども学科A

## 令和6年度マナー向上キャンペーン実施

令和6年5月23日にキャンパスマナー向上を図り、学友会・学科・サークル・教職員総勢70人が協力し学内美化に努めました。



News!

## 令和6年度 入学式

4月4日(木)に入学式が開催されました。近年、新型コロナウイルス感染症拡大の防止措置の観点から、出席者は入学生のみとしておりましたが、本年度は入学生のご家族にもご出席いただきました。

学部・大学院・専攻科あわせて298名の新入生が入学し、福祉学科の木坂圭亮くんが入学生総代宣誓を行いました。



News!

## 爽風会館改修

昨年度まで、教員の宿舎として使用されていた爽風会館が改修され、4月9日(木)にオープンセレモニーが、鈴木理事長、富士学長の参列のもと、執り行われました。

爽風会館は、1階にアクティブラーニング室、2階・3階に宿泊室を配置し、学生の研修及び合宿などに利用できます。



## 令和6年度 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金、科学研究費補助金)採択一覧

所 属 職 名 氏 名	研究種目	研究課題名	研究期間	交付金額
経営学部 教授 堀越 昌和	基盤研究(C)	中小企業における女性後継者の承継後企業パフォーマンスの決定要因に関する研究	令和5年度～令和7年度	4,550,000円
経営学部 教授 市瀬 信子	基盤研究(C)	清代前半期の杭州詩壇を基盤として見る袁枚の文学活動とその詩観に関する研究	令和6年度～令和8年度	3,380,000円
経営学部 教授 松葉 龍一	基盤研究(B)	国際連携による学習者個々に最適化された学習を支援するICT学習基盤の検討・開発	令和2年度～令和6年度	17,290,000円
福祉健康学部 教授 岡部真智子	基盤研究(C)	地域で連携して取り組む居住支援プログラムの実践的開発と検証	令和2年度～令和6年度	4,420,000円
福祉健康学部 講師 石田 咲子	基盤研究(C)	「息の長い」支援に向けた満期釈放者に対する再犯防止施策の検証	令和5年度～令和7年度	1,950,000円
福祉健康学部 教授 古賀 一博	基盤研究(C)	教員人事評価制度改善のための東アジア国際比較共同開発研究	令和3年度～令和6年度	4,030,000円
福祉健康学部 准教授 田中 宏和	基盤研究(C)	学校現場における児童・生徒が有する著作権の保護の在り方	令和6年度～令和9年度	2,340,000円
福祉健康学部 講師 峯田晋史郎	若手研究	身体接触及び認知負荷を伴う動作中の内がえし捻挫受傷予防トレーニングの開発	令和3年度～令和7年度	4,680,000円
看護学部 教授 内田 史江	基盤研究(C)	在宅がん患者の看取りを支える「家族コミットメント」アセスメントツールの開発	令和4年度～令和7年度	1,040,000円
看護学部 准教授 松本 陽子	若手研究	精神科看護師が抱く陰性感情と視点取得的関わりモデルの構築	令和4年度～令和7年度	2,080,000円

## 令和6年度 ■ 福山平成大学公開講座 ■

## ■ テーマ 次世代への道しるべ～30年の教育・研究からの展開～

■ 日時 全5回(8月29日・9月5日・12日・19日・26日)  
18:30～20:00

■ 受講対象者及び定員 一般市民 250名

■ 会場 福山平成大学 7号館大講義室

■ 受講料 無料

■ 問い合わせ先 庶務課

第1回 8月29日

本当は怖い足首の捻挫～予防法をマスターしよう～

健康スポーツ科学科  
峯田晋史郎 講師

第2回 9月5日

調査からみる福山市の子どもの貧困

福祉学科  
梶原 豪人 講師

第3回 9月12日

子ども主体の保育～理論と実践～

こども学科  
小野 順子 教授

第4回 9月19日

「もしものとき」に備える人生会議  
(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)について

看護学科  
平井三重子 教授

第5回 9月26日

ChatGPTに聞いてみよう～AIは人間を超えるのか～

経営学科  
青木麟太郎 講師

## 貸借対照表 (令和6年3月31日) (単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>固定資産</b>	56,592,472,396	<b>固定負債</b>	1,805,655,001
<b>有形固定資産</b>	30,792,743,396	長期借入金	120,510,000
土地	6,890,160,619	退職給与引当金	1,626,371,341
建物	15,158,290,652	長期未払金	58,773,660
構築物	789,169,910	<b>流動負債</b>	2,198,436,173
教育研究用機器備品	2,292,615,490	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	28,802,826	未払金	93,608,125
図書	4,940,849,864	前受金	1,932,641,420
車両	8,030,725	預り金	124,426,628
船舶	9,012,310	<b>負債の部合計</b>	4,004,091,174
建設仮勘定	675,811,000		
<b>特定資産</b>	25,763,147,304	<b>純資産の部</b>	
第2号基本金引当特定資産	1,400,000,000	科目	金額
退職給与引当特定資産	1,626,371,341	<b>基本金</b>	55,245,220,805
減価償却引当特定資産	15,203,234,423	第1号基本金	53,357,220,805
校舎建設等引当特定資産	3,425,757,976	第2号基本金	1,400,000,000
創設準備引当特定資産	4,107,783,564	第4号基本金	488,000,000
<b>その他の固定資産</b>	36,581,696	<b>繰越収支差額</b>	2,212,560,230
電話加入権	3,048,426	翌年度繰越収支差額	2,212,560,230
施設利用権	600	<b>純資産の部合計</b>	57,457,781,035
保証金	33,316,670		
敷金	216,000	<b>負債及び純資産の部合計</b>	61,461,872,209
<b>流動資産</b>	4,869,399,813		
現金預金	4,544,858,784		
未収入金	211,984,531		
有価証券	81,363,520		
前払金	31,175,598		
仮払金	17,380		
<b>資産の部合計</b>	61,461,872,209		

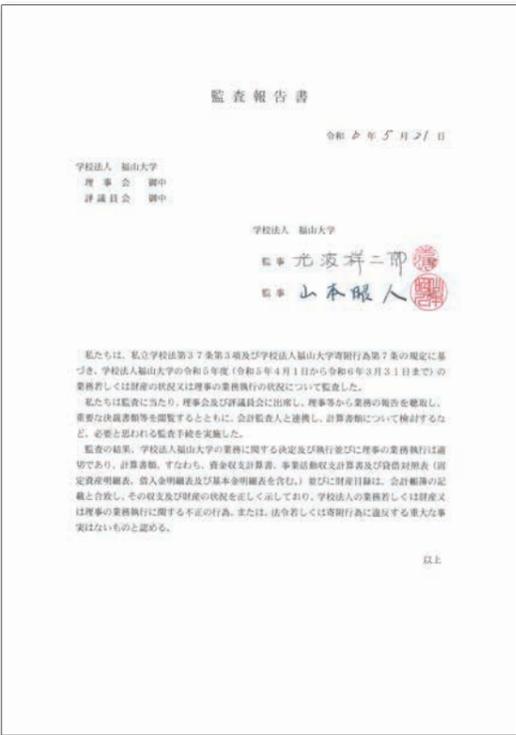
## 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が単年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

資産の部	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車輦等
有形固定資産	
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本金があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

## 財産目録 (令和6年3月31日) (単位：円)

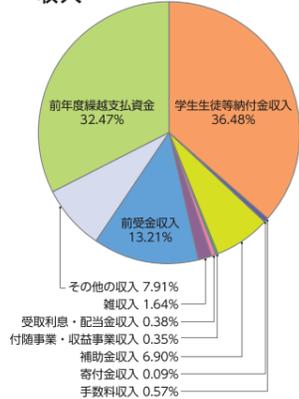
<b>一 資産額</b>			
<b>1. 基本財産</b>			<b>30,792,743,396</b>
土地	338,143 m <sup>2</sup>		6,890,160,619
建物	152,467 m <sup>2</sup>		15,158,290,652
構築物			789,169,910
教育研究用機器備品	4,438 点		2,292,615,490
管理用機器備品	203 点		28,802,826
図書	457,815冊		4,940,849,864
車両	31 台		8,030,725
船舶	2 艇		9,012,310
建設仮勘定			675,811,000
<b>2. 運用財産</b>			<b>30,669,128,813</b>
現金預金			4,544,858,784
第2号基本金引当特定資産			1,400,000,000
退職給与引当特定資産			1,626,371,341
減価償却引当特定資産			15,203,234,423
校舎建設等引当特定資産			3,425,757,976
創設準備引当特定資産			4,107,783,564
電話加入権			3,048,426
施設利用権			600
保証金			33,316,670
敷金			216,000
未収入金			211,984,531
有価証券			81,363,520
前払金			31,175,598
仮払金			17,380
<b>資産総額</b>			<b>61,461,872,209</b>
<b>二 負債額</b>			
<b>1. 固定負債</b>			<b>1,805,655,001</b>
長期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		120,510,000
退職給与引当金			1,626,371,341
長期未払金			58,773,660
<b>2. 流動負債</b>			<b>2,198,436,173</b>
短期借入金	日本私立学校振興・共済事業団		47,760,000
未払金			93,608,125
前受金			1,932,641,420
預り金			124,426,628
<b>負債総額</b>			<b>4,004,091,174</b>
<b>正味財産(資産総額-負債総額)</b>			<b>57,457,781,035</b>



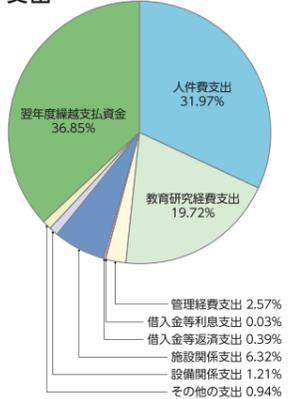
## 資金収支計算書 (令和5年4月1日～令和6年3月31日) (単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,336,857,164	人件費支出	3,943,602,214
手数料収入	83,509,898	教育研究経費支出	2,432,716,502
寄付金収入	12,895,294	管理経費支出	317,386,953
補助金収入	1,010,267,371	借入金等利息支出	3,837,145
資産売却収入	0	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	50,898,144	施設関係支出	779,255,715
受取利息・配当金収入	56,180,981	設備関係支出	149,071,100
雑収入	239,815,897	資産運用支出	3,906,336,450
借入金等収入	0	その他の支出	2,486,189,227
前受金収入	1,932,641,420	資金支出調整勘定	△ 91,227,553
その他の収入	7,433,768,110		
資金収入調整勘定	△ 2,388,202,431		
前年度繰越支払資金	4,751,154,689	翌年度繰越支払資金	4,544,858,784
収入の部合計	18,519,786,537	支出の部合計	18,519,786,537

## 収入



## 支出



上記のグラフは次のとおり調整しています。  
 ① 資金収入・資金支出調整勘定を除外  
 ② その他の収入・資産運用支出・その他の支出のうち、資産運用・預り金・仮払金に係るものは収入と支出を相殺

## 資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとはなっていませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明	
収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収支したものの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目

支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
設備関係支出	機器備品、図書、車輦等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金等に係る支出
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

## 事業活動収支計算書 (令和5年4月1日～令和6年3月31日) (単位：円)

科目	金額
<b>教育活動収支</b>	
<b>事業活動収入の部</b>	
学生生徒等納付金	5,336,857,164
手数料	83,509,898
寄付金	12,975,294
経常費等補助金	995,635,741
付随事業収入	50,898,144
雑収入	239,823,657
教育活動収入計	6,719,699,898
<b>事業活動支出の部</b>	
人件費	3,936,356,873
教育研究経費	3,387,728,970
管理経費	374,697,587
徴収不能額等	0
教育活動支出計	7,698,783,430
<b>教育活動収支差額</b>	△ 979,083,532

<b>教育活動外収支</b>	
<b>事業活動収入の部</b>	
受取利息・配当金	60,504,863
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	60,504,863
<b>事業活動支出の部</b>	
借入金等利息	3,837,145
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	3,837,145
<b>教育活動外収支差額</b>	56,667,718
<b>経常収支差額</b>	△ 922,415,814
<b>特別収支</b>	
<b>事業活動収入の部</b>	
資産売却差額	0
その他の特別収入	20,512,262
特別収入計	20,512,262
<b>事業活動支出の部</b>	
資産処分差額	2,126,719
その他の特別支出	0
特別支出計	2,126,719
<b>特別収支差額</b>	18,385,543

基本金組入前当年度収支差額	△ 904,030,271
基本金組入額合計	△ 11,339,691
<b>当年度収支差額</b>	△ 915,369,962
前年度繰越収支差額	3,129,300,192
基本金取崩額	0
<b>翌年度繰越収支差額</b>	2,212,560,230
(参考)	
事業活動収入計	6,800,717,023
事業活動支出計	7,704,747,294

## 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動(教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動)に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

科目の説明	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額 (施設設備に係る寄付は除く)
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入 (施設設備に係る補助金は除く)
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入

事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給与引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を除却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出

その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
前年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
翌年度繰越収支差額	当年度の事業活動収入の合計
事業活動収入計	当年度の事業活動支出の合計
事業活動支出計	

## 令和5年度(2024年3月卒業生)の就職結果

13年連続**99%以上**、  
加えて、  
昨年度就職率**100%**の  
確かな就職実績を達成!

# 就職 内定率

# 100%



### Recruit Point 1

## 昨年度就職状況について

今春の大卒生の就職率は、98.1%と過去最高を記録しました。本学も、コロナ禍の5類への移行や円安による輸出関連産業の状況に加え、少子化が顕著となる中で引き続き高い就職率を保っています。具体的には、令和5年度も就職率100%を達成することができました。この成果の要因も、地元等の多くの事業所様から求人をいただいたことや、本学が「教職協働による全学的取り組み」を就職支援においても基本にしていることなどにあると思います。

さて、就職状況については、地域別では地元の広島県への就職が約59%、広島県を除く中国地方が約12%等です。業種別では医療・福祉業が約38%、教育は約15%、卸売・小売業は約9%、製造業(事務職、営業職を含む)が約8%等と多様な就職状況です。



### Recruit Point 2

## 4年生の就職活動の状況及び本学の取り組みについて

本年度の就職活動の特徴は、昨年以上に採用活動が早期化していることです。そのため、本学でも相談予約枠が一杯になるほど学生が就職課を積極的に訪れています。

学生のニーズは職種選択の相談、面接指導の要望等様々ですが、その中で、本学では各学科とも密な連携を図るなど指導体制の充実を図りつつ、キャリアカウンセラーやハローワークから来られる就職ナビゲーターの方のお力を得ながら、しっかりとしたサポート体制を組んで、本年度も大学が一丸となり就職内定率100%の達成をめざして力強く取り組んでいきたいと思っています。



### Recruit Point 3

## 就職活動を取り巻く状況の変化

現4年生、また3年生の大卒採用の指針(いわゆる、「就活ルール」)は、現行どおりです。つまり、説明会が3年生の3月1日、採用選考が4年生の6月1日の解禁で、正式な内定日は4年生の10月1日以降(9月30日以前の内々定は、学生を拘束しないことになっています)です。

しかし、少子化の進行等により、特に中小企業等では「採用難」が一層深刻な状況となっており、この指針の形骸化は常態化しております。そのため、各企業はDX等による業務の効率化、残業時間の軽減等とおした「働き方改革」の推進や、子育て支援等による女性活躍推進、職場環境の改善による魅力ある職場づくり、福利厚生等の改善等の様々な取り組みを推進しています。



### Recruit Point 4

## 状況の変化を踏まえた学生の心構えについて

適時性という観点から、特に、2年生以下の学生に向けては、学生生活という限られた時間の中で、クラブ活動やボランティア活動、また、アルバイト等にも取り組み、自分の良さや、持ち味を発見したり、また、自己の課題を早期に、しかも確実に認識する機会としてください。

保証人の皆さまにも、本学の取り組みにご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## オープンキャンパス

本学では、高校生・保護者を対象に、福山平成大学の学びや魅力を体験できるオープンキャンパスを開催しています。キャンパスへ足を運び、福山平成大学を肌で感じてもらえるよう来場型で開催し、事前申込制で対応しております。学科での学びの紹介、入学者選抜制度説明を行います。高校生に興味を持っていただける内容での模擬講義・実習体験、施設・設備の見学、キャンパスライフの紹介など、本学のことを知ってもらえるプログラムを企画しております。安心して楽しい1日を過ごしてもらえるように、学生スタッフと教職員が万全の準備をして実施しております。2024年度は第1回を6/22に開催いたしました。



第2回以降は下記の日程で開催いたします。

7月21日(日)・8月17日(土)

9月7日(土)・2025年3月15日(土)



### 御幸五訓

- 一、真理を求め、道理の実践を志向する。
- 二、豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- 三、不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- 四、生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む。
- 五、誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発行 福山平成大学 発行日 2024年7月20日

## 福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <https://www.heisei-u.ac.jp/>